

紙面の比較

～報道の変化から災害を知る～

E-1-1-2
東日本大
震災

【 対象 】 司書教諭、一般教員、学校司書、児童・生徒
一般 その他

【 時間 】 60分

【 会場 】 廊下、多目的ルーム、会議室、教室など
新聞が掲示できる場所

【参加者の持ち物】
筆記用具 など

【準備】 大きめの紙、付箋（3色）、
あれば細長い紙（短冊状） など
キット 東日本大震災 8-1-1-1 8-1-1-2

【 講師 】 不要

【 活動の流れ 】

- ① 2011年の3月12日震災直後の掲示した新聞各紙を見る。
印象に残った見出し・どんな記事が多いのか・使われている写真の特徴
使われている面 など気づいたことを付箋①を持たせ、書く。
- ② 2011年の9月、2012年3月11日の新聞を時系列で読み、記事の内容や見出しから気づいたことや、印象に残ったことを付箋②に書く。
印象に残った見出し・どんな記事が多いのか・使われている写真の特徴
使われている面 など気づいたことを付箋②に書く。
- ③ 災害の報道の変化について気づいたこと、考えたことを付箋③に書く。①～③の付箋を大きな紙に貼り、それを見ながら意見を交流する。
- ④ 災害について知ったことをもとに、防災や減災について考える。防災・減災に関するコメントを短冊に書く。
例：「災害は必ずやってくる。その時は、 ～ しよう」

【 その他 】 班の人数や形態は自由です。新聞の②に関しても同様で、1年後3年後など、応用可能です。見出しに注目させると、変化がわかりやすいので、作業が滞っている場合はアドバイスするとよいでしょう。